

まちの話

7月29日[Fri]

佐賀県初！「女山大根」がGI登録！



▲宮崎政務官(中央)から登録証を受け取った蒲原会長(右)

西多久町に江戸時代から伝わる伝統野菜「女山大根」が、農林水産省の「地理的表示(GI)保護制度」に基づき、知的財産として登録されました。全国では「夕張メロン」や「神戸ビーフ」などが登録されていますが、佐賀県内の農林水産物では初めてとなります。

7月29日(金)に霞が関の農林水産省で登録証の授与式が行われ、宮崎雅夫政務官から登録生産者団体である幡船の里運営協議会の蒲原政信会長へ手渡されました。

登録証を受け取り、蒲原会長は「女山大根の伝統を守り、次世代に引き継ぎ、さらなる発展をめざしていきたい」と意欲を示されました。

7月19日[Tue]

多久高校相撲部が表敬訪問



▲(左から)石田俊二教育長、大坪敬太さん、東島さん、満上さん、多久高校相撲部顧問の小形祥三先生、荒瀬弘之副市長

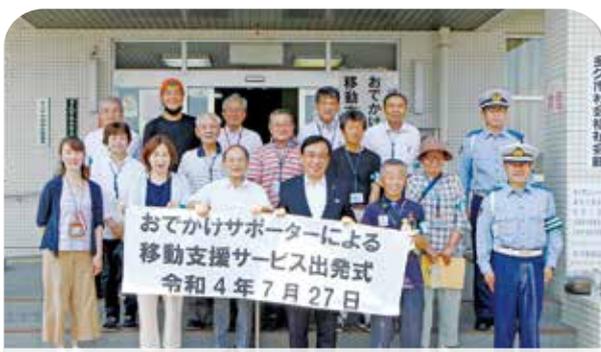
7月3日(日)に唐津市で開催された全九州高校体育大会(相撲)で、多久高校相撲部の満上颯悟さんが個人80キロ級で優勝、東島翔さんが個人無差別級で準優勝し、多久市役所を表敬訪問されました。多久高校相撲部はこの輝かしい結果を受け、全国高等学校総合体育大会への切符を勝ち取っています。

表敬訪問では満上さん、東島さんともに「優勝目指して頑張ります。みなさん、応援よろしくお願ひします」と力強く話し、健闘を誓いました。

7月26日(火)~28日(木)に高知県で開催された全国総体では、団体戦での決勝トーナメント進出を逃したものの、満上さんが個人80キロ級で3位入賞を果たしました。

7月27日[Wed]

おでかけ支援サービス開始！



▲笑顔で出発式を迎えたおでかけサポーターのみなさんと関係者

高齢者などが抱える日常生活の悩み事の身近な相談窓口として開設された「多久市暮らしサポートセンター」が実施する新事業“移動支援サービス”の出発式を多久社会福祉会館で行いました。

市内の高齢者1,446人へのアンケートで、多くの方が「移動が不便」と回答したことを受け、支援事業を開始。住民ボランティア11人がおでかけサポーターとして、通院や買い物、サロン会場などへの送迎をサポートします。

式では、横尾俊彦市長が「人生100年時代の今、地域のみなさん同士の支え合いは特に大切です」と挨拶。終了後には早速、移動支援のため東多久町へ出発しました。

